

## 平成28年第10回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成28年10月 4日 午前10時00分
- 2 閉会 平成28年10月 4日 午前11時35分
- 3 会議に出席した委員  
花井 隆教育長、横田 威委員、山本明子委員、  
土井真紀江委員、金田真也委員
- 4 会議に欠席した委員  
なし
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 大根義久  
教育部次長兼中央図書館長 豊田高広  
教育総務課長 三竹雅雄  
学校教育課長 鈴木欽也  
生涯学習課長 富田 成  
スポーツ課長 大羽耕一  
文化財課長 鈴木利昌  
渥美図書館館長 菅沼智子  
教育総務課主幹 鈴木光浩  
スポーツ課主幹 鈴木信宏  
文化財課主幹 増山禎之  
文化財課主幹 鈴木敏恭  
教育総務課課長補佐兼係長 伊藤英洋  
教育総務課主任 宮嶋綾子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

## 田原市教育委員会第10回定例会議事日程

日 時 平成28年10月 4日 (火)

午前10時00分

場 所 北庁舎3階 300会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 報告事項
  - (1) 教育委員連絡報告事項
  - (2) 学校再編について
- 4 その他

教育長

開 会 午前10時00分

御多用のところ御出席いただきまして、ありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。

定足数に達していますので、平成28年田原市教育委員会第10回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者としては、横田委員と土井委員の御兩名を指名させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

市議会9月定例会におきまして、山本明子委員と金原真人委員の教育委員としての任期が9月30日をもって満了となることから、山本明子氏を教育委員に再任することについて、また、金原真人委員の後任として金田真也氏を教育委員に任命することについて、市議会の同意を求める議案が市長から上程され、同意の議決がなされました。山本委員、金田委員には、先ほど市長から教育委員の辞令が交付されたところでございます。

就任されましたお二人からあいさつをいただきたいと思います。

はじめに山本委員、よろしく願いいたします。

山本委員

おはようございます。再任ということで、9年目になります。きょうが初めの日ということで、今までの反省をしながら、また新たに自分でできることをもう1回見つめ直して、教育長や皆さんと教育委員会を盛り上げて、いろいろな問題にチャレンジしていきたいなという気持ちで頑張っていきたいと思いますので、お願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

続きます、金田委員、よろしく願いいたします。

金田委員

おはようございます。田原地区神戸出身の金田真也と申します。よろしく願いいたします。

こうやって教育委員という大変な役職に戸惑っているのですが、少しでも役に立てればということで、未熟者ですが、頑張ります。御指導よろしく願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

次に、自己紹介をお願いします。

(教育委員、事務局職員の自己紹介)

続いて、教育長報告事項に移りたいと思います。

9月16日、教育委員会第9回定例会がありました。その日に福江中学校の体育大会で、金原委員が御出席いただいております。

9月17日、小学校運動会がありました。私は田原東部小学校へ行ってまいりました。保育園児も、私が今まで小学校の運動会で見た中で一番たくさんの距離を走っていました。年長の子たちは100メートル近

く、カーブを回って、ぐっと走りましたので、保育園の子を鍛えているなど感じました。

また、地域の方もたくさん出て、保育園、小学生が一生懸命やっておりました。あと、組み立て体操も、よく研究されてやっているのですが、けががないような形でやっておりました。組み立て体操については中止にする学校もあって少し寂しいなと思っているのですが、田原東部小では全体で考えた体操をやられていてよかったと思います。

9月17日、18日が田原のお祭りでした。

9月20日、3連休明けに台風16号による暴風警報が10時28分に発令されたので、急遽給食を中止にし、急いで下校という形で対応しました。路線バス通学をしている学校もあるものですから、そういう点では、やはり少しずつこういう対応にもなれてきているのかなと思います。ただ、野田地域の子が田原中学校から出るのに、路線バスの時刻を意識しなければいけないものから、そのときは12時25分の田原萱町発の路線バスで下校しています。風雨が午後2時ごろ結構強くなったので、その時間には全員帰宅していて、給食を廃棄することは非常に心苦しかったのですが、安全に下校するという点では、何とかおさまったかなと思います。また何か御意見があればお願いいたします。

翌日9月21日、午前中は伊良湖岬小学校の学校訪問でした。伊良湖岬小学校が2年目を迎えて、いろいろな面で順調に行っているのかなと思います。ただ、まだまだなれ切っていない部分もありますが、そういう中でも前進し続けているなど思っております。

同日の午後、高松小学校区で、秋の全国交通安全運動初日の街頭キャンペーンに、校区の方とともに出席いたしました。小学生がマーチングバンド演奏ということで、小学校から市民館までパレードがありました。高松小学校も一生懸命マーチングバンドをやっていて、これも地域とともに学校があると感じました。

その後、三遠ネオフェニックスを応援する田原の会がありました。

新しいB. L E A G U Eの初年度で、ぜひ好成績を上げてもらえたらなど期待しております。

9月23日に田原市議会が終わりました。

そして、9月24日、小学校の運動会がありました。

9月28日、小中学校校長会。2学期最初の校長会で、校長全員が集まって会議をしました。

その後、午後、田原会で、小中山町の愛知県栽培漁業センターの視察がありました。

9月29日の福江高校と渥美農業高校の体育大会が予定されていましたが、9月30日に順延になりました。福江高校で開会式を見学して、渥美農業高校では、昼前の応援合戦などを見学しました。渥美農業高校の応援合戦では、私も少しびっくりしたのですが、3年生が4クラ

スありまして、1組、2組、3組、4組で、例えば生活デザイン科など、女の子たちは服装を整えて40名近くでマスゲーム的な踊りをやるなどで盛り上がっておりました。

あと、いろいろな課でそれぞれ工夫して、ほぼ笑ましく高校3年生が各クラスの出し物をしていました。自分たちの高校時代とは随分違うなという印象を受けました。

以上、教育委員会定例会以降の報告とさせていただきます。

あと、10月の出席予定会議を掲載しておりますので、御承知おきいただけたらと思います。

以上、報告とさせていただきます。

何か御質問等がありましたら、お願いします。

御質問等もないようですので、教育長報告事項は終わりました、次に教育委員連絡報告事項について、委員の方々からお願いします。

横田委員

前回の定例会から、2件参加させていただきました。

一つ目は、9月17日、高松小学校の運動会へ行きました。スポーツ課長もよく知っていると思いますけれども、高松小学校は地域を挙げて運動会をやっているなど感じました。学校に子どもがいなくても運動会に応援に来ているような地域で、やはり地域が子どもたちを育てているということがよくわかる運動会でした。

統廃合の問題もいろいろありますけれども、このように和やかな雰囲気で行っている地域はいいなという感じを受けました。

二つ目、10月1日、新人戦がありまして、渥美総合体育館のバレーボールを見に行きました。昔の新人戦では、サーブが入らないことが多くてゲームにならなかったですけれども、このごろはレベルが高くて、Aクイックとか、移動攻撃まで2年生の子がやっていたので、すごくびっくりしました。

準決勝で、泉中学校と赤羽根中学校で試合があったのですが、泉中学校は1年生の子が試合に出ていました。半分1年生で、その子どもたちが一生懸命拾ってトスを上げていました。

一つびっくりしたのが、前にもお話ししましたが、保護者の応援が以前と大分変わってきていました。今回も福江中学校の応援団がビニールの棒のようなもので応援していました。大分親が熱を入れてきているなというように感じました。ほかの競技よりも、このバレーボールは本当に応援がすごいので、すごく館内に活気がありました。

子どもが一生懸命頑張っている姿は、やはりいいなと感じました。

ありがとうございました。土井委員、お願いします。

教育長

土井委員

9月17日の土曜日に、私は伊良湖岬中学校の体育大会に参加しました。周りの方々の話し声が聞こえたのですが、生徒数が減ってしまったので、昔を思うとすごく違うなということでした。それと、生徒は少ないのですけれども、1年生、2年生、3年生が、縦割り班対抗で

四つに分かれて競い合っていたので、私は、それはそれで新鮮ですごく楽しく見せていただきました。たまたま知り合いの保護者に声をかけられると、大半が統合の話を中心に聞かれて、やはり、よくわからなくて不安な部分が多いということでした。今後、話し合いの会があると思うので、わからないことや気になることはどんどん質問したほうが良いと伝えました。いろいろな意味で、すごく悩んでいることがたくさんあり過ぎて、保護者も特に小学校と違って中学校のほうがいろいろな意味での悩みは多く、子ども自身もすごく悩んでいることが多いと感じました。

逆を考えると、すごく楽しみで早く行きたいという意見もあるし、いろいろなので、やはりお母さんたちの気持ちというのは、今、統廃合のことが一番気になっているんだなということを経験的に聞いて、改めて、もっといろいろなことを話し合える場をつくっていくことが大切だと改めて思いました。

教育長

ありがとうございました。

また再編のことは報告の後で行いますので、よろしく願います。

では、山本委員。

山本委員

私も土井委員と同じで、9月17日の童浦小学校の運動会に出席しました。

組み立て体操では、どきどきするような4段ぐらいの組み立て体操をやっていました。危険かなと思ったのですが、先生たちが見守りながら子どもたちは平気でやっていました。

童浦小学校は大きな学校ですけれども、地域の人を中心に、保育園や老人会など、いろいろな方が運動会に参加しておられました。

教育長

ありがとうございました。童浦小学校の状況としては、光崎地域の子どもが非常に多くて、いわゆる浦地区は通学団リレーをやるのに選手がいないようです。大きい中でも、新興住宅地を抱えながら、地域一体となってやっていました。去年見たときには、大河ドラマの音楽に乗っている子どもたちが動いていました。

それぞれ特色あるものを行っているかなと思います。

次回からは、金田委員にもこういう形で御報告いただきますので、感じたことをおっしゃってください。よろしく願いいたします。

以上で、教育委員の連絡報告事項を終わります。

次に、学校再編についての報告をお願いします。

教育総務課長

学校再編について報告させていただきます。

最初は、伊良湖岬中学校再編整備方針についてでございます。

こちらにつきましては、9月16日の教育委員会定例会で定めまして、9月23日の市議会全員協議会、9月26日の校区コミュニティ協議会定例理事会、そして9月27日には市長定例記者会見で、この内容を報告させていただきました。

改めまして伊良湖岬中学校の再編につきましては、統合の方式を、伊良湖岬中学校を福江中学校へ統合するという、実施時期につきましては、平成31年4月1日、統合校の位置については福江中学校とするものでございます。

今後、校区の皆さん、そして保護者の方、先生方と一緒に統合準備委員会を立ち上げて、通学体制など、統合に向けたいろいろな課題を協議、検討していきたいと思っております。

通学につきましては、遠距離通学になるので、スクールバスの運行によって通学支援をしようと考えております。

1枚おめくりいただきまして、泉中学校についてです。9月8日、第6回泉中学校再編検討委員会を行いました。

泉中学校の統合先につきましては、赤羽根中学校、統合時期は平成33年度という教育委員会の方針について協議していただきました。

統合の場所を赤羽根中学校へということにつきましては、ほとんど皆さん赤羽根中学校との御意見でした。ただ、統合時期につきましては、全会一致ということにはなりませんので、この方針案で教育委員会に報告するという事まで、まとまっておりません。

泉中学校再編検討委員会では、統合に関係する今までの経緯、問題点、平成33年度と考えた理由、平成30年度の問題点、平成31年度の問題点といった、こういったものを全世帯、小学校、中学校、保育園の保護者の皆さん全員に配付させていただきまして、周知して、より理解を深めていただくために、泉中学校再編検討委員会からのお知らせを出していくことになりました。

10月3日に校区へ配付し、小学校、中学校、保育園、それぞれへも配付してまいりましたので、これが皆さんの各家庭ですとか、学校を通じて、皆さんに行き渡っているのかなと考えております。

学校再編については以上です。

今、学校再編についての報告がありました。

御質問等がありましたら、お願いします。

泉中学校の統合時期は、平成33年度ですか。

はい。泉中学校再編検討委員会でも多くの方が平成33年度という御意見でした。

前回、平成32年度の統合ではどうかとの話がありましたが、いかがですか。

早めの統合時期を希望する方もいらっしゃったので、平成33年度となった経緯などを皆さんにさらに周知するために、泉中学校再編検討委員会としても少し時間をかけてお知らせしたいとのことで、泉校区会長名で泉中学校再編検討委員会からのお知らせを出させてもらっています。

泉中学校再編検討委員会としては、教育委員会が出した方針案に則

教育長

山本委員  
教育総務課長

山本委員  
教育総務課長

教育長

るような形で、泉中学校再編検討委員会の議決はあったのですが、地域の皆様へ、より周知し、理解を深めていただくために、お知らせを検討委員会の委員長名で出させてもらって、様子を見ながら、また改めて泉中学校再編検討委員会委員長から教育委員会に対して意見が出てくると思います。伊良湖岬中学校統合検討委員会のように、全会一致で統合時期が平成31年度、統合先は福江中学校というようになればよかったのですが、まだいろいろな意見等もありましたので、様子を見ながら、少し時間をかければ皆さんの理解が深まるのではないかと、前回の教育委員会でも、泉中学校についての議決は保留し、先に送ったということで、また改めて泉中学校再編検討委員会の委員長から提案があると思います。

年内ぐらいで上げられるのではないかとということですが、また機が熟したときに教育委員会へ出てきますので、また委員の皆さんに御検討いただきたいと思います。

横田委員

伊良湖岬中学校は大体決まったわけですがけれども、今後の統合準備委員会に、福江中学校区からどういう方が参加予定ですか。

教育総務課

検討中ではございますが、校区総代と自治会長、学校関係者などを考えております。

横田委員

受け入れる側の赤羽根中学校や福江中学校としてもすごく戸惑いもあると思いますので、ぜひメンバーに入れてほしいなと思います。

また、赤羽根中学校や福江中学校側の自治会長や校長に話はしていますか。

教育総務課長

校区総代には話をさせていただいております。校長先生とも学校教育課長を通じてお話をさせていただいております。

教育長

9月のコミュニティ協議会理事会で教育部長から統合について報告をしているわけですがけれども、どういう雰囲気でしたか。

教育部長

9月26日にコミュニティ協議会の定例理事会がありましたので、伊良湖岬中学校と泉中学校の学校再編の状況をお伝えしました。

伊良湖岬中学校再編整備方針について状況説明をさせていただきましたけれども、特に御意見等はございませんでした。校区会長から御意見が出るということはありませんでした。校区会長さん方からは、情報提供していただければいいからというコメントをいただいておりますので、引き続き、横田委員が心配されるように、受け入れ先、あるいはコミュニティ協議会全体にも関係してまいりますので、適時、情報提供をしてまいりたいと思っております。

教育長

コミュニティ協議会の前に、市議会にも報告を行いました。市議会においても特に意見はございませんでした。

順次、9月末にタイミングよく決定事項を報告させてもらったので、皆さん比較的穏やかに受けとめていただいたかなと感じています。

市長の定例記者会見でも伊良湖岬中学校の統合について報告事項に



横田委員

入れさせていただきました。泉中学校については、もう少し時間を見てということですが、また今後もよろしくお願いします。

もう一点。伊良湖岬中学校再編整備方針に参考として生徒数が書いてあります。

平成31年度の1年生が121人で4クラス。1クラス30人程度。ところが、2年生は1クラス40人です。1人来れば4クラスになる規模です。伊良湖岬地域の子は中学1年生のときに27人で、2年生になって40人。今まで少人数だったのが一気に40人になると子どもの心理状況がとても心配になりました。学校関係者の方が数字を見ると、大変だぞという声が出てくるかもしれません。

山本委員  
教育長

野田中学校の統合の場合はいかがでしょう。

野田地域の中学3年生の場合は、24人ぐらいが200人の中へ入っています。学校教育課長、状況はどうですか。

学校教育課長

例えば先生をふやすことができることなら、中学2年生も35人学級を特別にやる方策が打てないかなと思っています。

横田委員

話が少し変わってしまうのですが、教職員の多忙化が中学2年生ぐらいに出てくるのです。今、中学1年生は意外と落ちついていますが、少し荒れてくるのが中学2年生ぐらい。中学1年生は30人ぐらいで、まあまあとなっていて、中学2年生になって、中学1年生のときの35人学級から40人学級になって、こういう原因で不登校になるとか、いじめが出てくる。だから、ぜひ市で、中学2年生を35人学級にしてもらえたらと思います。それほど校数はないと思うのですが、35人学級にできると、子どもが安心して生活できると思います。

教育長

平成31年度の統合時期には、40人学級というよりは、35人学級で4クラス展開の方向にできたらと思っています。

学校教育課長

市費以外にも、県からも加配がいただける可能性があります。統合した年には大変だからということで1名増ということが今までもありました。ただ、正式な学級のふえ方ではないものですから、授業時間数として、教員の持ち時間はふえてしまいますので、学校がそれでもいいということであれば、例えば、そうやってふえた教員を使って3クラスを4クラスに展開するなど、作戦は幾つか立てられるかと思います。

横田委員  
教育長

もし、大変だという声が出たら、教員をふやす対応をしてほしい。

何とかここは、縦割りもできるように学級数を4クラス展開にしていけるように検討していきたいと思います。

あと、土井委員がお話しされた統合に向けた準備についてです。小学校に比べると中学校では、進学を含めた不安が、子どもにも保護者にもあると思いますので、その辺の対応についても、今からの準備期間の中で、野田中学校の例も参考にさせてもらいながら進めていけたらと思います。その辺は、また事務局で意見を聞きながら、先ほど

教育部長

言った福江中学校側も一緒にテーブルについてもらって、一緒に考えていく体制にしていきたいと思いますので、また、報告していきたいと思います。そのほか、いかがでしょうか。

では続いて、その他に移ります。

それでは、教育委員会事務局の組織・所管事項、各課課題について資料No.1をごらんください。

1 ページ目は私から説明させていただいて、2 ページ以降は各課長から説明いたします。

教育委員会事務局の組織といたしましては、教育部として1部、6課、出先の期間として渥美図書館という状況になっております。

職員の体制は、部長以下、67名でございます、そのうちの13名が再任用、このほか、県から栄養教諭が給食センターへ2名派遣されております。

予算の規模といたしましては、平成28年度市全体の一般会計予算が295億5,000万円なのですけれども、そのうちの12.1%に当たります教育費といたしましては、35億7,400万円という状況でございます。

また、業務内容として、所管事項について記載させていただいております。

教育総務課は、学校再編や給食センターの管理運営等がございます。

学校教育課は、教職員の任免、研修、学校の組織編制、教育課程、学習等指導になってございます。

生涯学習課は、社会教育と生涯学習の推進ということで、青少年健全育成の推進、あるいは市民館、それから江比間野外活動センターの管理運営も、こちらで行っております。

スポーツ課は、スポーツの振興を行っております。

文化財課は、文化財の調査、保護、それから博物館、池ノ原会館、吉胡貝塚公園、市史編さん等を所管いたしております。

中央図書館は、出先機関といたしまして、渥美図書館がございます。図書館の管理・運営を行っております。

各課の概要と課題については、各課長から説明させていただきます。

教育総務課長

教育総務課でございます。学校再編について、方向性としましては、望ましい教育環境をつくる、児童生徒の教育条件の改善を目的に小中学校の適正規模を進めるために行っているものでございます。

今年度の取り組みといたしましては、伊良湖岬中学校の統合のこと、泉中学校の再編検討について行っておりまして、これからは伊良湖岬中学校の統合準備、泉中学校についても、統合先、統合時期の決定を考えております。

平成26年12月に学校全体配置計画を策定したわけですが、各校区の状況に応じて見直しをかけていこうと考えております。

あと、教育総務課では学校施設の営繕、改修・修理も行っております。

学校教育課長

築50年以上の建物もありますので、建てかえや大規模改修が必要になってまいりました。学校再編も含めて、人口動向も考えながら、老朽化が進む学校施設の更新計画を策定していきたいと考えております。

教育総務課につきましては、教育委員会の会議及び教育委員に関する事務も担当しておりますので、よろしく願いいたします。

教育総務課からは、以上です。

3ページをごらんください。取り組みと課題について、五つ挙げさせていただきます。

一つ目のふるさと学習の推進についてです。

学校教育課では、現在、学校教育振興計画を策定中です。市全体の教育大綱でも、ふるさと教育、ふるさと学習の推進がうたわれており、田原市の学校教育では、このふるさと学習が最も根幹となる理念と捉えております。ふるさと学習を通して子どもたちを育てていきたいと考えております。

2番目の学力向上について。

毎年行われております学力検査の結果が、昨年度、余り思わしくなかったということもあって、何とか学力の向上をと言われておりますし、学校現場でもさまざまに対策を立て、取り組みを行っているところです。ただ、目先の点数を上げることにとらわれるのではなくて、本当に子どもたちに身につけるべき学力をつけさせていきたい、目指していきたいと考えて市全体で取り組みを行っているところです。きめ細かな学習が行えるように、市としても非常勤講師や教育活動支援員などをできるだけ多く配置して、教育現場の教育活動が充実したものになるように取り組みをしております。

3番目が、いじめ・不登校問題への対応であります。

最重点課題の一つとして毎年取り組んでいます。田原市内では、いじめに関しては、重大な事案は起きてはいないということで捉えておりますが、いつ起こるかもしれないので、十分な体制をとっていききたいと考えております。

不登校につきましては、若干減ってきてはおりますが、まだ多くの子がやはり不登校という現状がありますので、対策をとっていききたいと考えております。教育サポートセンターの対応が充実してきていると捉えております。

それ以外にもスクールソーシャルワーカーを市から配置しました。さまざまな角度から学校教育課としても学校を支えていきたい、この分野についても、そう考えております。

4番目の中高の連携についてです。

現在、福江中学校と福江高校の連携型中高一貫教育を目指して準備を進めているところです。本年度に準備・検討を終え、愛知県教育委員会から正式に指定を受ける形で、来年度より実施をしていく方向で

ございます。

具体的にどのようなことを行っていくのかを、今、詰めているところでございますが、例えば教員同士の交流事業、あるいは学校行事等でかかわれる部分をつくったり、あるいは総合的な学習で地域学習を、中学校でも高校でもやっているのですが、そこで6年間を見通したキャリア教育という形で計画的に進めていくような連携であったり、そのようなことを、今、模索中でございます。

来年度から実際に両校の連携が始まっていくのですが、2年後か3年後には、連携型中高一貫校における入試というのも実際には取り入れられていく予定でございます。一般の入試と違って、主に面接のような形で、福江中学校については、希望すればその形での入試が受けられるというようなことを実施していく予定でございます。

5番目の教員の多忙化解消でございます。

全国的に今、問題になっていることで、田原市内でも教員の多忙化の解消に向けての具体的な対策について、検討しているところです。

来年度より校務支援システムを導入していただけるということで、現在、そのシステムの準備中ではありますが、さまざまな学校現場での事務処理を全て電子化して一元管理するという形で、情報セキュリティと事務処理の効率化を目指し、多忙化解消にもつなげていくということで、今、準備を進めているところです。

学校教育課からは、以上です。

生涯学習課長

4ページをお願いします。生涯学習課からは、社会教育施設の適正化を課題として挙げさせていただきました。

現状①、現在、市内にある20市民館のうち、昭和47年から昭和62年に建てられたものが13施設あり、築年数が30年を超える市民館は11あります。これらの施設は、近い将来、大規模な修繕・建てかえなどが必要となる施設となります。

②田原・赤羽根・渥美の3か所の文化ホールは、合併前の旧3町がそれぞれ設置し、建築からそれぞれ20年が経過し、設備・施設の老朽化が進んでおります。

③田原市生涯学習振興計画は、生涯学習の基本理念、「ふるさとに学び 人が輝く 田原のひとづくり」や、田原市の生涯学習が目指す方向性を示しておりますけれども、社会教育施設の今後の方針等には踏み込んでおりません。

そして、課題ですけれども、①田原市公共施設適正化計画には、「全ての施設を維持するのは、財政、将来世代に負担の懸念があるとして、機能の適正化に向け、保有総量の圧縮、適正配置、長寿命化などを図ること」としております。

①の市民館につきましては、地域の生涯学習、地域コミュニティの活動拠点としての機能を重視しつつ、複合化などを検討し、計画的な

改修計画を策定していきます。

②文化ホールなどの文化施設については、合併前の旧3町がそれぞれ整備していたため、市の人口規模からすると、保有施設が多く、利用度が著しく低下している施設があり、周辺の施設等と統合を検討していきたいと考えております。

策定方針といたしまして、①現在と将来のサービスニーズを把握して、公共施設の質と量をマッチさせ、機能の最適化を目指していきます。そのために、各施設の耐用年数や基礎データなどを集め、今後の施設整備の方針を決定していきます。

市民館等の各施設は高度成長期に建設されたものが多く、今後、更新や改修、修繕などの維持費が重なることが予測されます。計画的な改修・補修を行えるよう、築年数や構造、利用率等を考慮し、計画をつくってまいります。

②の田原市公共施設適正化計画に基づく各施設の役割や利用率、再配置がサービス低下にならないかなど、いろいろな角度から検討して、他の施設との統廃合、多機能化、他自治体との連携可能性などを模索していきます。

最後の、施設の長寿命化につきましては、適切な時期に適切な改修、修繕、リフォーム、リノベーション等を適正化計画に盛り込んで施設の長寿命化を図り、施設の更新、費用の削減、建設から解体までのライフサイクルコストを削減していきたいと考えております。

以上です。

教育長

事務局の説明がありました。これまでの中で何か御意見がございますか。生涯学習課では、市民館等施設、いろいろな面で施設の老朽化が進んでいる。それに対して、建てかえ、長寿命化、一部改築ということで、今まである施設の傷みにどう対応していくかという部分が今後大きな問題かなと思います。

続いて、スポーツ課からお願いします。

スポーツ課長

それでは、5ページのスポーツ課について御報告をします。

3年前にスポーツ課ができて、国のスポーツ基本計画、愛知県のスポーツ推進計画、それから昨年つくった田原市のスポーツ推進計画に基づいて、いろいろな事業をやっております。

「スポーツ大好き田原」が、田原市スポーツ推進計画の中に掲げてありまして、みんなが参加するだけでなく、見る、応援する、これもスポーツだよというところで幅を広げた中で、みんながスポーツ大好きになってほしいという視点で、今、取り組んでいます。

そうした中で、スポーツ課の課題は大きく二つあります。

まず1点目が、「サーフィン競技会場を田原市へ」ということで、オリンピックにかかわるサーフィン会場誘致についてです。昨年9月に、2020年東京オリンピックの追加競技として、自然の波を使ったサーフ

インが提案されました。これを受けまして、毎年、サーフィン世界大会をやっているポテンシャルの高い会場があるので、本市としても、その動向を踏まえて、昨年12月から現在まで、オリンピックの組織委員会を初め、スポーツ庁、それから関係機関に、サーフィン競技会場の誘致に対する要望活動を実施しているところです。

本年8月のI O C総会において、サーフィン競技が、野球などと一緒に正式に追加競技になりました。これを受けまして、オリンピック競技会場については、当初は8月ごろに発表されるのではないかということでしたけれども、現在、日本サーフィン連盟から正式に通知が来ておりまして、会場については、12月に開催するI O Cの理事会で承認決定の予定だという案内が来ておりますので、現在は情報収集しながら、やっていきたいと思っています。

実施方針としましては、オリンピック誘致活動に合わせて、サーフィンの世界大会、日本サーフィン連盟が主催する全国規模の大会等の誘致に取り組んで、本市のスポーツ振興や地域の活性化に寄与するように推進していきます。

課題としましては、現在、会場受け入れ環境の整備、具体的に言うと駐車場、光通信の回線整備です。

あとは、地元の理解、受け入れの承認。それから、誘致する大会、オリンピックだけではなくて、グレードのある大会を本市に誘致するというので、どういう大会を誘致するかということが一つの課題となっております。ことしの実績としましては、J P S A、W S L世界サーフィン大会を7月に実施しております。

全日本サーフィン選手権大会は、全国から70支部、野球でいう甲子園のような感じで、全国の地区予選、70支部の予選を勝ち抜いた人たちがここに一斉に集まって、1,000人を超す選手が集まったということで、1週間に及ぶ大会も実施しております。

2点目が、渥美半島駅伝競走大会です。

現状は、本大会は、過去に65回、大会を実施しております。ただ、3年前、2012年12月にレース中に事故がありまして、これを受けまして今は休止状況です。

そういった状況の中で、今、マラソン大会や駅伝大会が全国的に減ってきておりまして、特にこの大会については、高校陸上部の総仕上げの大会で、最後に行われた大会でも130チームぐらいが参加している駅伝大会ですので、そういう声を受けまして、復活の要望があります。

主催は東三河陸上競技協会です。実施方針としては、来年12月にリニューアルして渥美半島駅伝大会を開催していくように検討して進めているところです。

課題としては、交通事故対策のため、国道を走るエリアを減らすということで、今、あくまで予定ですけれども、スタートが赤羽根市民

文化財課長

センターで、大草から県道に入って、豊島のほうを抜けて、長仙寺の前を走って、万場調整池を回って、ゴールが豊橋南高校というコース設定で警察協議も進めています。課題は、今言った、豊橋・田原の警察署の管内を走りますので、その警察協議。それから、今言ったスタート施設から中継施設、ゴール施設の確保が今後の調整になっていきます。それから、新コースに対する交通整理人員、ボランティアの配置を考えて、新コースに当たる地元の理解と承認。それから、運営費の確保が課題となっています。以上です。

6ページの文化財課をお願いいたします。

二つの大きな項目を挙げております。1番目に、資料の収蔵と整理、活用です。文化財資料、特に歴史系の博物館でございますので、考古・歴史・美術・民俗資料がメインでございます。発掘調査、それから寄贈・寄託・購入等により、資料の増加は続いております。

現在、博物館、渥美郷土資料館、赤羽根文化財収蔵庫（旧成章高校校舎等）に資料を収蔵しております。

一部施設の老朽化が進んでおり、特に赤羽根文化財収蔵庫につきましては、状態が悪い状況でございます。

それから、赤羽根トレーニングセンターにつきましても、現在、休館施設ということで一部使わせていただいておりますが、こういった資料を、収蔵ないし活用していくことが大きな課題です。

平成28年度の取り組み内容につきましては、収蔵資料の研究に向けた整理、台帳化、それから特に、現在、文化財の指定を視野に入れた研究・調査、これは特に保美貝塚等で指定要件となります文化財施設もあるということで、大きな課題の一つです。

2番目として、「ふるさとの学びを生かした文化振興」。

生涯学習振興計画の中でも、特に文化振興に資する施設ということで、文化財・博物館施設の位置づけております。

平成28年度の取り組み内容は、①ふるさと学習でございます。今年度、各種サミット、フォーラム等への参加、それから田原・赤羽根現代編等の刊行、10月29日から始まる秋の企画展等もございます。

なお、②として、博物館の新しい企画ということで、生涯学習振興計画の中で、新たなお客様の開拓ということで、今年度は、夏の企画展として漫画をテーマにしました。12月からは外国の作家を取り上げた巡回展等を開催いたします。

なお、公開展示施設も社会教育施設と同様に、昭和50年代の施設、平成に入ってから施設がございますので、施設の改修も検討に入っていく必要がある状況でございます。

中央図書館長

中央図書館から、7ページをお願いします。

最初は生涯読書の振興についてです。

平成27年度に、「まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画」を策定しま

して、市民の生涯にわたって読書ができる環境を整え、読書活動や読書を通じた地域の活性化や自立と交流の支援に取り組むということで、多岐にわたる事業を進めております。ここでは本年度の新規の主な取り組みということで、2点御紹介いたします。

第一に、本年度、愛知大学との連携事業の一環として、読書と図書館利用についてのアンケート調査を実施いたします。これは20歳以上の市民からサンプルを抽出してアンケート調査を行うというもので、田原市民の不読率、本を読まない住民の割合を初めとして、読書や図書館利用についての行動や意識を把握し、「まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画」が平成29年度で3年目になりますので、そこで中間評価やローリングを行うつもりです。

長期的に見ますと、先日、議会の決算委員会でも質疑がありましたけれども、徐々に利用が減少していくという傾向が見られますので、利用減少対策プロジェクトチームを館内で立ち上げました。ここで、アンケート調査結果なども活用して、近年の利用減少の原因分析と対策立案をして、来年度、中央図書館の開館15周年にも当たるわけですが、そこで、できることから実行していきたいと考えています。

それから、生涯読書振興計画の中では、田原市単独ではなく、近隣の自治体などと協力して進めていこうとうたっているのですが、最初の事業の一つとして、豊橋市図書館との共催による、『「魅力対決！豊橋VS田原」パネル展』を実施いたします。

意外と自分のまちの魅力を知らない、ましてや隣のまちのことはよくわからないというのが実態ではないかと思うのですが、両方のまちの魅力を、それぞれの図書館の視点で、いろいろな資料を使って掘り下げてPRする、パネルを用意して市民に投票していただくことを豊橋で9月12日から始めまして、田原では11月12日から1月12日まで実施する予定です。皆様にも、ぜひ御協力いただいて、田原にたくさん票が入るようにということだけが目的ではないのですが、盛り上げていきたいと考えております。

2番目は、渥美図書館の利用促進についてですが、こちらにつきましても、渥美図書館の菅沼館長からお願いします。

渥美図書館について、地域性を踏まえた特色ある図書館サービスを行っていくことにより、利用促進につなげたいと考えております。

平成28年度の取り組み内容としては、まず福江高等学校との連携です。高校生の利用促進を図りたいと考えております。

そのために、高校生の方に選書していただいた本を購入し、「私の好きな一文」という形でイベントをやりまして、それを館内に掲示し、高校生に立ち寄っていただくような工夫もしております。

また、開館20周年で平成26年度にリニューアルを行いました。2階に新しくティーンズコーナーができ、普段も中学生、高校生が寄って

渥美図書館長



教育長

いただいているのかなと思っております。

次に、杉浦明平寄贈図書室の活用についてです。地元の作家である杉浦明平氏の資料がたくさんありますので、情報を発信して、地元の方だけでなく、市外の方の図書館利用へつながる講座を開催していきたいと思っております。

次に3番目、地元の産業である農業に関する資料の充実です。

生活に結びついた資料を揃えることによって、普段図書館を活用していない方でも、皆さんに図書館を活用していただきたいと思っております。

あと、4番目として、NPOとの連携を挙げております。

地元のNPO団体とつながりを持ち、そうした団体を通して発信をし、渥美図書館に来ていただきたいと考えております。以上です。

それぞれの課から、現状と課題等の報告がございました。

何か御質問等がありましたら、お願いします。

ないようですので、本日の議事は全て終了いたしました。

これをもちまして、田原市教育委員会第10回定例会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午前11時35分